

✦ 仙台オープン病院 ナース・ライフ ガイド

Nurse Life Guide

健やかな暮らしのまんなか
わたしたちの仕事があります



Between
The Mind
& Heart



公益財団法人 仙台市医療センター

仙台オープン病院

様々な学びのバックアップ体制があるので、安心して挑戦できます

新人
看護師
1年目



看護師(呼吸器内科)
佐藤 樹さん
宮城県出身・令和元年入職

— 職場ではどんなバックアップ体制がありますか？

3、4年目の先輩がプリセプターとして付き、1年間指導してくれるので、わからないこと、知りたいことはすぐに聞ける環境にあります。さらに病棟では数人チームで看護に当たるので、経験豊富な先輩と共に学べます。研修制度もしっかりしているので、実地経験と知識の両方を段階を踏んで身につけることができます。

夜勤は、研修や実地をある程度経験した8月から始まります。先輩とペアになってスタートするので、不安はありません。夜勤を経験することで、昼間とは違った患者さんの状態を観察できるので、それが次の看護に役立つことが数多くあります。

— やりがいを感じるのとは？

病棟チームで、認知症患者さんの退院支援に力をいれています。医療相談員と共に地域の福祉施設などと連携し、準備や情報共有をしますが、退院後も笑顔で生活されているという話を聞くとやりがいを感じます。



休日の過ごし方は？

趣味はフットサルです。仙台オープン病院でもチームがあり、医師や事務スタッフなど様々な職種が参加しているコミュニケーションの場になっていますし、体力維持に役立っています。



患者さんの心と体のケアにベストを尽くせる看護師を目指します

— 看護師を目指したきっかけは？

中学生の頃、病気で入院したことがあるのですが、その時の担当が男性の看護師だったんです。最初は「男性もいるんだ」という認識でしたが、接していくうちに、ケアもとても丁寧で、気さくで話やすく、様々な悩み事を聞いてもらうなど、苦しい時期を心身ともに支えてもらいました。看護の奥深さを感じ、また男性看護師だからできることがあるのではないかと感じ、看護師を目指しました。

— 現在はどんな看護を担当されていますか？

私は消化器外科の病棟で、手術前後の重症患者さんを受け持つチームに所属しています。ターミナルケアの患者さんの中には痛みで不眠を訴える方がいます。薬は処方されているのですが、他に何かできるケアはないかと考え、先輩にも相談し足浴を勧めました。実践したところ、とてもリラックスして気分が和らいだと喜んでいただけました。「もっとできることはないか？」という意識を持つことの大切さを実感しました。



看護師(消化器外科)
松田 翔さん
宮城県出身・令和元年入職

新人
看護師
1年目

休日の過ごし方は？

バスケットボールを学生時代から続けていて、仙台のバスケットボールリーグにも所属し、試合に出場することもあります。ジムでの筋トレもストレス解消に役立っています。



2年目に入り、より専門的な看護の学びにチャレンジしています

2年目
看護師



看護師
(循環器内科・心臓血管外科)
川俣 貴子さん
宮城県出身・平成30年入職

— 1年目と2年目ではどんな変化がありますか？

1年目は看護師としての基礎を身につける期間で、プリセプターの先輩について実践を通して学んできました。2年目になると看護の役割が幅広くなるので、責任も重くなります。さらに、もう一歩踏み込んだ学びが必要となります。私は心臓血管外科に所属していますが、心不全に関する勉強会に参加し、専門的な学びに取り組んでいます。難しいことやわからないことは、先輩が周りにいても相談に乗ってもらっています。1年目の時のプリセプターも定期的に声をかけてくださるので、とても心強いです。

— ワークライフバランスはどんなふうにしてますか？

2交代制勤務なのでサーカディアンリズムも調整でき、負担なく仕事に取り組めます。リフレッシュ休暇もあり、休暇をまとめて取りやすいです。旅行が趣味なので、先日も1週間休暇をいただき、韓国へ行ってきました。



休日の過ごし方は？

看護師の友人と行く旅行が一番のリフレッシュ方法ですが、普段は愛犬と過ごす時間に癒されています。母親も看護師なのでこの仕事について、今まで以上に会話が増え、仲良くなりました。



アセスメント能力の向上を目指し切磋琢磨しています

— これまで担当した部署は？

最初に配属されたのは救急で、その後、ICU、外科、またICUを経験しました。育児休暇を経て病棟勤務し、現在のHCUに就きました。

— NPはどんな役割を担うのですか？

NPは医師の指示のもと一定の制限はありますが代行で診療行為が可能です。例えば、急性期が過ぎた患者さんを専門病院に搬送する際に、救急車同乗することもあります。それによって、先方に引き継ぎをより迅速、確実に行うことができます。

— 教育分野の担当もされているか？

院内全体のフィジカルアセスメントの研修を担当しています。患者さんの身体的な情報を、五感を使って観察・収集し、相対的に判断してチームで共有する必要があります。そのアセスメント能力を全体で向上するにはどうしたらいいのか、院内全体で情報共有しながら、高め合っていきたいと思っています。



診療看護師(NP)
坂田 愛さん
宮城県出身・平成13年入職

診療
看護師
(NP)

休日の過ごし方は？

1歳の子供がいるので、現在、育児短時間勤務制度を利用して、8時30分から16時までの勤務です。子どもと公園に行ったり、家族で旅行に行ったりする時間が自分のリフレッシュになっています。





看護部は目標管理に取り組んでいます

看護部は、組織人としての役割を果たし、質の高い看護の提供と人材管理の目的で「目標管理」に取り組んでいます。病院の理念のもと「ミッション」を受け、看護部目標を提示した後に、各病棟医師は「ビジョン」を打ち出し目標設定をして1年間活動を行っています。

目標管理の看護実践の手段として「固定チームナーシング」看護提供方式を導入しています。

各看護師長の立てた病棟目標を実践するために、「固定チームナーシング」をツールとして使い看護の展開をしています。また「固定チームナーシング」は一人ひとりの患者さんのニーズに即した質の高い看護を安定して提供するための看護システムです。チームで年間目標を持って、一定期間安定した看護活動を続けて行くという方式です。これによって、1人の患者さんに対して受け持ち看護師がついて入院から退院までをケアし、その看護師が所属する固定チームがその看護実践を支援するという形です。

固定チームナーシング3つの目的

- ①患者に責任を持って継続した質の高い看護の提供
- ②看護スタッフのやりがい感と自己実現を目指す
- ③看護スタッフの育成と自立

急性期医療を担う当院では、看護部もまた高度な技術と知識をもって地域の看護職の手本となるようなポジションが求められています。当院の看護師はこのシステムを通して育成され、自立した看護師へと成長していきます。当院の「認定看護師」や「診療看護師(NP)」の誕生のきっかけにもなっています。

+仙台オープン病院 看護職の特徴

毎日が、信頼で繋がる。 固定チームナーシングの一年



年間スケジュール

新人看護職教育スケジュール

看護部年間タイムスケジュール



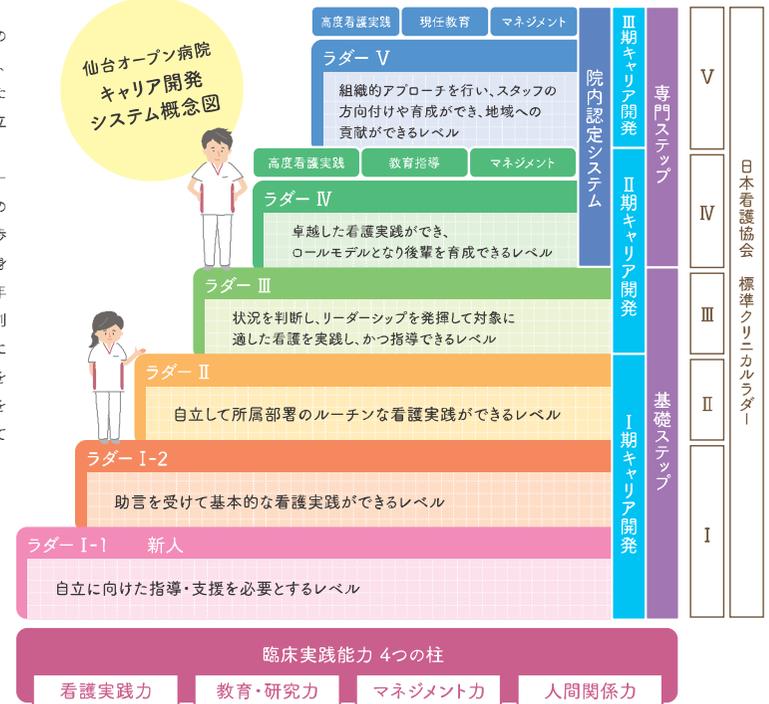
+仙台オープン病院 看護職の教育・研修プログラム

成長に合わせたプログラムでキャリア開発をサポート 一人ひとりの力を発揮できる環境づくりを進めています

一人ひとりの看護師がその仕事に適応していけるよう、「3つの教育目標」に基づいた教育・研修プログラムを確立しています。

新人は、4月のオリエンテーションからスタートし、1年間のプログラムによって一歩一歩着実に必要な対応と知識を身につけていきます。そして、2年目には受け持ち看護師の役割を中心に、後半から3年目にかけてリーダーとなる教育を受け、4年目には研究発表を経てリーダーの経験を重ねていきます。

仙台オープン病院 キャリア開発 システム概念図



3つの教育目標

- 1 固定チームナーシング看護提供システムにおける役割認識を高め実践することにより個別的な質の高い看護サービスができることと共に、看護師として自立を目指す
- 2 専門的知識を深めつつ実践力を養い、看護のレベルアップを図る
- 3 医療チームの一員としての役割を認識し、円滑な人間関係を保つことができる能力を養う

かかりつけ医



受付
診療



Staff Interview

入院支援

入院への不安を抱える患者さんやご家族を看護師が専門的な立場からサポートします。また、入院前から退院後の治療、リハビリ、福祉施設などへのサポートも始めています。

私が担当しているのは入院サポートです。初めて入院される方も多く、動揺されていたり不安を抱えているので、看護師の経験を活かして少しでも負担を軽減できればと思います。「相談できてホッとした」と言ってくれたこともあり、やりがいを感じます。

看護師(入退院支援室) 今野 美樹さん
(山形県出身・平成23年入職)

入院



専門スタッフとの多職種連携

看護の仕事



情報収集

個々の患者さんの情報を把握し患者さんやご家族にとって望ましいケアが提供されるよう努めています。



回診・ミーティング

医師の回診に付き添い、情報交換を行い、患者さんの代弁者となり一緒に治療計画を立てています。

検査・手術

ケアカンファレンス

ケアプランの検討



清潔ケア

病室は患者さんの生活の場。快適に安楽に過ごせるよう一人一人に対応したケアを行います。

CHFカンファレンス



寛解と増悪を繰り返す心不全患者は増加の一途を辿りますが、患者さんが“その人らしく過ごせる”よう入院から退院、外来に至るまで「慢性心不全認定看護師」を中心に「ハートケアチーム」がサポートしています。

認知症ケアチームラウンド



認知症による行動・心理症状や意思疎通困難のある患者さんに多職種で対応することにより、その人らしさを尊重しながら身体疾患の治療を円滑に受け入れてもらえるよう努めています。

栄養サポートチーム (NST)



栄養士がそれぞれの病棟に配置され、栄養面全般をサポートします。

感染防止対策チーム (ICT)



感染管理認定看護師を中心に、医師や看護師、事務スタッフなどのチームで院内感染の管理を行っています。



看護師と各専門のスタッフが密に連携!

“その人らしく生きる”をサポートする多職種連携チーム



褥瘡

皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となって、褥瘡ケアの知識や技術を院内全体で共有しています。

退院支援カンファレンス



地域包括ケア時代に伴い、地域で生活する患者さんを可能な限り多職種チームで紹介しサポートしています。

理学・作業療法士 (PT・OT)

言語聴覚士 (ST)



歩行や言語など、患者さんのQOLを向上させるリハビリ専門スタッフと共にサポートしています。

退院支援

退院



地域へ



当院では、「人としての尊厳を守る」ケアコンセプト“VAP(キネステティックプラス)”研修を受け入れていきます。

仙台エリアの二次医療を担う設備と特殊部署

ER



年間約4,500台以上の救急車を受け入れ、緊急の内視鏡検査・治療・手術や心臓カテーテル検査・治療など高度な専門的治療にも対応できるように幅広い知識技術の習得に努めています。

内視鏡室



内視鏡検査や治療を年間23,000件行う、全国屈指の病院です。また、消化器外科は年間1,300件の手術を行うなど、全国でも高い評価を受けています。

ハイブリッド室



2018年よりハイブリッド室を設営し、更なる最新医療機器を備え高度医療に取り組んでいます。手術室看護師も専門性を高めるよう自己研鑽に努めています。

ICU・HCU



各8床を備え、心臓血管外科、消化器、循環器、呼吸器系疾患を対象に二次救命医療を担っています。全診療科に対応できる知識・技術の豊富な認定看護師を中心に質の高い看護の提供に努めています。

緩和ケアルーム



2018年3月、緩和ケア病棟を新たに開設しました。当院には緩和ケア認定看護師もおり、患者さんが、“その人らしく過ごせる”ようサポートしています。

健診センター



高齢化時代に伴う健康寿命への担い手として健診センターでは保健師が活躍しています。

Information

◆寮も院内保育園も完備!

看護師寮



病院から徒歩約3分の場所にワンルーム形式の寮を整備しています。通勤・生活に便利な上に、コミュニケーションも図れる場所となっています。



院内保育園(敷地内)



現在、2歳の娘を院内保育園に預けています。同じ敷地内にあるので送り迎えがとても楽です。院内の勉強会などで遅くなる時も保育時間の延長をしてもらえるので助かります。3歳までの育児短時間勤務制度もあるので、安心して職場復帰できました。

当院に勤務する職員のお子様をお預かりする「院内保育園」を開設しています。

■月～土 7:00～19:00 ※火・金曜日は24時間保育

Staff Interview



看護師 當摩 利栄さん
(宮城県出身・平成18年入職)

◆地域貢献の場で活躍しています。



災害時にはDMAT隊員出動



診療看護師が出前講座でBLS研修



認知症看護認定看護師が地域健康講座で講演



摂食嚥下障害看護認定看護師が地域健康講座で講習



感染管理について認定看護師が登録医に出前講座



マラソン大会の医療スタッフとして参加

親睦を深める
イベントたくさん!



職員旅行



フィッシュ活動中のクリスマスイベント



オープン祭



登録医ビールパーティー



忘年会



どんと祭に参加



公益財団法人 仙台市医療センター

仙台オープン病院

<http://www.openhp.or.jp>

